## 津 波 ・ 河 川 氾 濫 に 対 す る 避 難 計 画 【 概 要 版 】(1/2)

被害をもたらす最大クラスの津波の場合、住民等の生命を守ることを最優先として、住民等の避難を┃計 軸に、地域の状況に応じた総合的な対策を講じるものとされている。

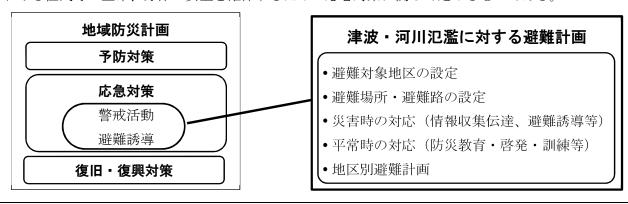
平成24年8月には、内閣府から南海トラフの巨大地震における津波浸水想定が公表され、平成25年 8月には大阪府より府内市町村ごとの詳細な津波浸水想定が公表された。さらに同年10月には、大阪 府域の人的被害想定として、津波による死者数が市内で最大79人、ただし迅速な避難を行えば死者数 はゼロになると想定された。また、河川氾濫については、大阪府が平成25年3月までに見出川・佐野 川・樫井川を対象とした「洪水リスク図」公表している。

#### 目 的

│本計画は、泉佐野市地域防災計画に基づき、今後予想される「南海トラフ巨大地震」による津波の発 生や河川氾濫に備え、本市における津波・河川氾濫に対する避難対策の基本的な事項を定めるととも に、地域別に避難方策を明確化することにより、津波や河川氾濫から住民等が生命や安全を守るため の迅速かつ適切な避難行動を実施することを目的とする。また、市民や各団体等の避難対策の指針と することも目的とする。

### 地域防災 計画との 関

本計画は、「泉佐野市地域防災計画」の下位計画と位置づけ、泉佐野市地域防災計画に定める災害応急 対策のうち、地震・津波発生直後から津波終息までの期間、大雨時の河川氾濫のおそれがある期間に おける住民等の生命、身体の安全を確保するための応急対策に関して定めるものである。



#### 避難行動 | <津波避難>

## の考え方

津波の浸水が予想される地域の外へ出る立ち退き避難を基本とし、逃げ遅れた場合等には避難ビル 等の堅固な高層建物へ避難することとする。

#### <河川氾濫避難>

川沿いや低地など深い浸水が想定される地域は、災害発生前に避難所や近隣の高層建物など安全な 場所へ立ち退き避難をすることを基本とする。

床下浸水程度の浅い浸水想定地域や屋外への避難が危険な状況では、建物内の2階以上など安全な 場所へ移動する等の垂直避難をすることも避難の一つとする。

#### 津 波 避 難 │ ■避難対象地区

### 計

津波浸水想定区域を基に「避難対象地区」と、想定を超える範囲で浸水が拡大する可能性を考慮し た「注意喚起対象地区」を設定した。

#### 〈避難対象地区(13地区)>

- 津波浸水想定区域と重なる町丁 (りんくう往来北・南は防潮堤より海側のみ)
- 〇 対象人口 夜間:約5,000人

**昼間:約11.000人** 

### <注意喚起対象地区(22地区)>

- 概ね標高 5m (最大津波高 3.8m に余裕を持たせた 高さ)の旧国道26号線より海側の地域
- 対象人口 夜間:約14,000人 **昼間:約19,000人**

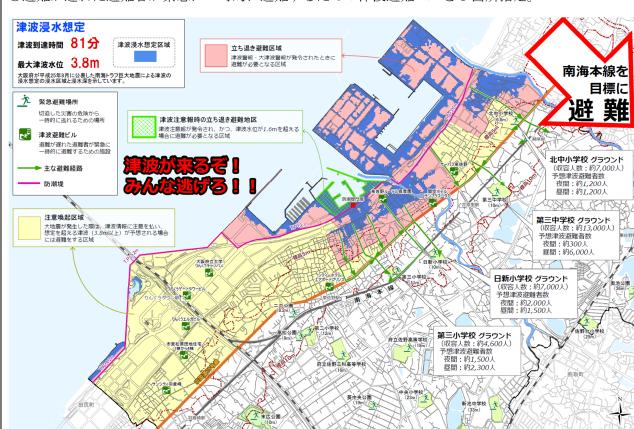
「避難時間 55 分で徒歩による避難が可能な距離は約 2km」 55分:東日本大震災で「津波が来るとは思わなかった」人の平均避 難開始時間は26分を、津波到達時間から差し引いた時間(81 -26=55)

2km: 東日本大震災の徒歩での平均避難速度である 2.23km/時間よ

海岸線より 2km 地点は、避難対象地区の十分外側であるた め、避難困難地区は無いものとする。

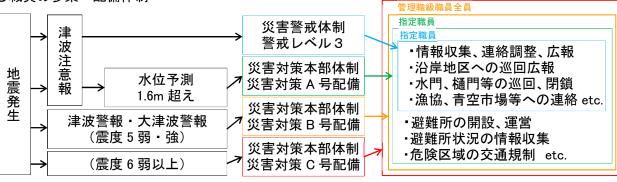
#### ■避難場所の設定

- ○避難の目安となる避難目標を『南海本線』とする。
- ○緊急避難場所は、予想最大津波水位 3.8m より十分高い標高 5m 以上にある場所を指定。
- ○避難が遅れた避難者が緊急に一時的に避難するための津波避難ビルを9箇所指定。



#### ■災害時の対応





全職員

## 津 波 ・ 河 川 氾 濫 に 対 す る 避 難 計 画 【 概 要 版 】(2/2)

#### 津波避難 〇避難指示の発令

・避難準備情報・避難勧告は発令せず、基本的には避難指示のみを発令

発令基準	対象地区	範囲 (表図)
「津波注意報」が発表され、かつ、 津波水位が 1.6mを超える場合	新浜地区及び新町地区(青空市場周辺) 及び海岸部	
「大津波警報」、「津波警報」が発	避難指示:避難対象地区(13地区)	
表された場合	注意喚起:注意喚起対象地区(22地区)	

#### ○陸閘の閉鎖

泉佐野市沿岸に津波の来襲が予想される場合、

「泉佐野3-1門扉」を閉鎖する。

- 津波注意報: 出動待機
- ・津波警報・大津波警報:閉鎖が必要

#### 〇避難誘導

<開設する避難所>

津波警報	北中小学校、第三中学校、日新小学校、第三小学校、第二小学校、
大津波警報	佐野公民館(二中公園)、健康増進センター(末広公園)
震度 6 弱以上	全避難所
辰及 b 羽以上	(津波警報・大津波警報が発令中は、佐野中学校、第一小学校は開設しない)

※避難誘導・陸閘操作等に従事する者の安全確保を最優先とする。

#### 河 川 氾 濫 ┃ ■避難対象地区

**避難計画** | 洪水リスク表示図を基に 100 年に 1 度の確率降雨 79.3mm/h、200 年に 1 度の確率降雨 86.9mm/h の 浸水範囲を避難対象地区とする。

### <避難対象地区内人口>

	100 年確率				
浸水範	水範囲人口 立ち退き避難対象人口				
夜間	夜間   昼間		昼間		
約 500 人 約 440 人		約 40 人	約 30 人		
200 年確率					
浸水範	囲人口	立ち退き避難対象人口			
夜間 昼間		夜間	昼間		
約1,600人 約1,200人		約 50 人	約 40 人		

### <対象地区>

見出川:鶴原3丁目、4丁目

佐野川:下瓦屋1丁目、上瓦屋、中庄、湊

3丁目、4丁目

樫井川:南中樫井

#### <立ち退き避難が必要な建物>

- ①浸水深が概ね 0.5m を超える区域の平屋 建ての建物
- ②浸水深が概ね 2.0m を超える区域の 2 階 建ての建物

#### ■災害時の対応

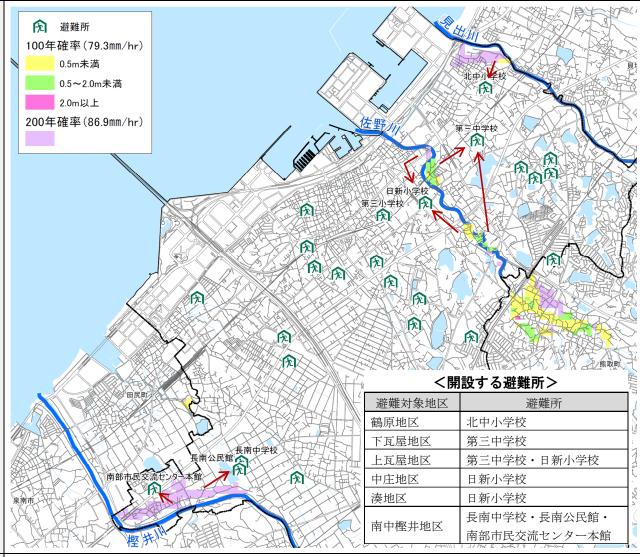
### 〇避難勧告等の発令・配備体制

避難準備情報	「避難判断水位」に到達した場合等	警戒レベル3
避難勧告	「氾濫危険水位」に到達した場合等	A 号配備
避難指示	水位が堤防天端に到達するおそれが高い場合、	A~C 号配備
	氾濫が発生した場合等	

### 〇河川水位基準

河川名	水防団待機水位	はん濫注意水位	避難判断水位	はん濫危険水位
見出川	0.800	1.300	1.500	1.600
佐野川	0.750	1.250	(上流) 1.500	1.750
(左,野)川	0.750		(下流) 2.000	2.100
樫井川	1.000	2.250	3.300	3.600

### 河川氾濫 避難計画



## 平常時

### ■避難誘導対策

の 対 応 避難路等において津波避難ビルや海 抜 3m、5m、7m の場所等(110 箇所) に右の標識を設置している。



# 約 5 m

### **この付近の海抜は** ■防災教育・啓発・避難訓練

- 出前講座や防災講習会
- 避難行動要支援者、滞留旅行客等に 対する避難誘導訓練等

#### 地 区 別 ■ワークショップ実施

避難計画 避難に関する住民ワークショップを4地域(8地区)で各2回ずつ 実施し、その成果を「地区別避難計画」及び「地区別ハザードマッ プ」としてまとめた。

#### <ワークショップ実施内容>

#### 【1回目】

- ①津波、洪水の発生の仕方、特徴、避難の必要性・方法の説明
- ②泉佐野市全体の災害危険区域(ハザード情報)の説明
- ③地図や表を用いて避難の検討
- ④情報共有(各班の発表)

#### 【2回目】

- ①まち歩きをして避難経路の確認
- ②地図や表にまち歩きでの気づきを整理
- ③情報共有(各班発表)



